今月の教えて！相談室

vol.150

徘徊ナビの識別報知方法について

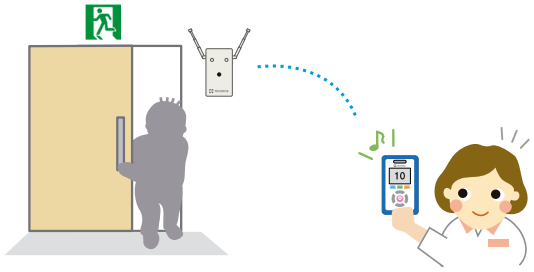
徘徊ナビを使用しています。
誰が前を通ったか？個人を識別することはできるのでしょうか？

徘徊ナビは対象者がナビモニターの前を**「だれ（個人）」**が通過したか？
または**「どこで（場所）」**で通過したかを受信器で知ることができます。

●徘徊ナビは、場所識別と個人識別の2種類の報知方法がありどちらかを選択します。

1. 場所識別

ナビモニターを複数使用時、場所を識別できる。
（最大10箇所の場所を識別できます）

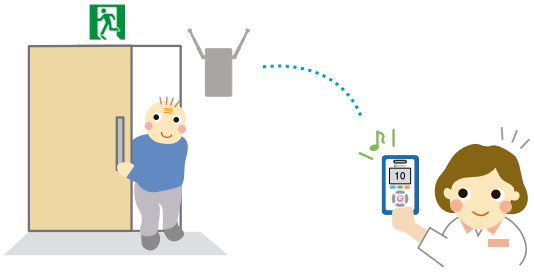


誰かが 非常階段のドア を通った

OR

2. 個人識別

タグを複数使用しているときに、誰かを識別できる。
（最大10名まで識別できます）



Aさん がナビモニターの前を通った

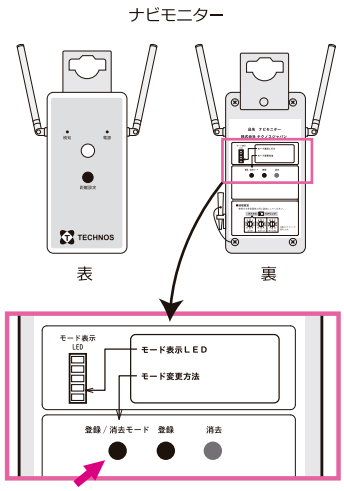
●場所識別、個人識別の切り替え方法

1，ナビモニター背面の「登録/消去モードボタン」を押しながら
電源をONにすると、「ピー」と鳴動し「識別設定モード」になります。

2，「登録/消去モードボタン」を押すごとに設定を変更できます。
LEDが　全て消灯→「場所識別モード」、全て点灯→「個人識別モード」

3，そのまま10秒経過すると自動的に設定されます。

4，実際に動作チェックします。



徘徊ナビの導入事例はありますか？→

現場リポートvol.88をご参考ください。
http://www.technosjapan.jp/correspond/scene/pdf/82g.pdf

右記型式のナビモニターは場所識別・個人識別設定が可能です。
（それ以外のナビモニターは場所識別のみ設定が可能。）
※2016年11月以前に購入された徘徊ナビは、個人識別に対応していませんのでご注意ください。

徘徊ナビモニター	（MNAV-HRA）	2016/11 発売
徘徊ナビモニター	（MNAV-HRB）	2018/11 発売
ナビモニター	（HNM-1）	2019/11 発売

無断の複製、転載は固くお断りいたします。 Copyright2023 Technos Japan Co.,Ltd.All Rights Reserved.